

新空港線整備事業について

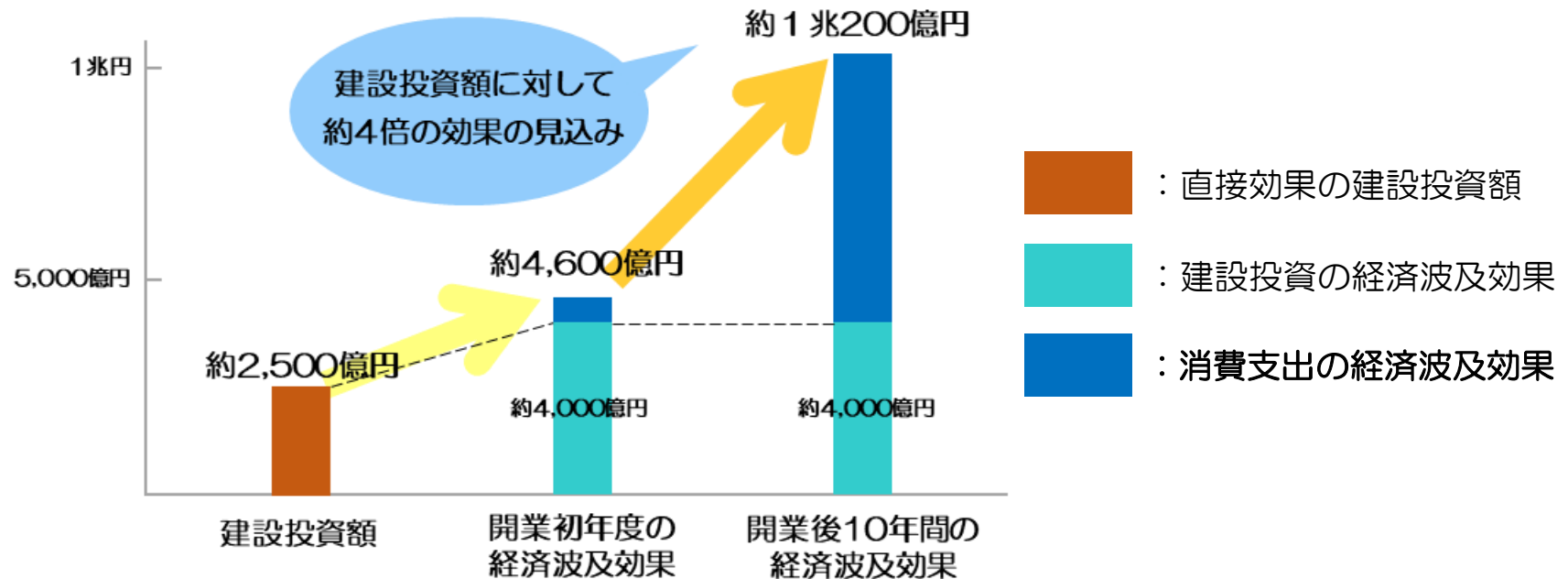
1. 大田区鉄道沿線まちづくり構想

令和6年3月に、沿線のまちの将来像やその実現に向けた道筋を示す「大田区鉄道沿線まちづくり構想」を策定しました。

新空港線第一期整備と蒲田駅周辺におけるまちづくりによる経済波及効果の結果

期間 \ 地域	大田区	東京都（大田区含む）、埼玉県・神奈川県の一部
開業初年度	約2,900億円	約4,600億円
開業後10年間	約5,700億円	約1兆200億円

■東京都（大田区含む）、埼玉県・神奈川県の一部地域における開業後10年間までの経済波及効果



2. 国土交通省予算概算要求

令和7年度の国土交通省予算概算要求に新空港線第一期整備に関する予算が計上されました。

令和7年度予算概算要求概要（鉄道局関係資料抜粋）

（1）既存の都市鉄道網を活用した連絡線の整備等

[事業費：90百万円、国費：30百万円]

（都市鉄道利便増進事業費補助（速達性向上事業））

都市鉄道の路線間の連絡線整備や相互直通化を進め、既存の都市鉄道施設を有効活用しつつ、都市鉄道ネットワークの一層の充実を図る。

○ 新空港線の整備

京浜東北線、東急多摩川線及び東急池上線の蒲田駅と京急蒲田駅間のミッシングリンクを解消し、東急東横線等との相互直通運転を通じて、国際競争力強化の拠点である新宿、渋谷、池袋等や東京都北西部・埼玉県南西部と羽田空港とのアクセス利便性の向上を図る。

3. 現在と今後の流れ



新空港線「蒲蒲線」の実現に向けて全力で取り組みます！！